

寺報

龍正寺



<平成24年 6月>

宝龍会

護持会

— 昭和の家族を通して —

先日、子供達と一緒に創作人形作家の安部朱美さんの特別展に行ってきた。今にも動き出しそうな人形達の表情や仕草にとても感動しました。

昭和の家族～きずな～と題されたこの人形展。

親は仕事で忙しく、お兄ちゃんお姉ちゃんが下の子達の面倒を見るのが当たり前前の時代。大家族でちゃぶ台を囲み、縁側でスイカ… 食しくても心は豊かで温かい。今の時代、人との付き合いが面倒くさいと嫌煙し、メールやチャットで話す。手紙を出す事も少なくなりましたね。もちろん、便利になって良い点も沢山あると思います。でも忘れてはいけない古き良き時代のご縁や絆を大切に作る心は、いつまでも残っていてほしいですね。

「地縁」という言葉を目にしました。昔は同じ土地に住む人達は家族の如くに接していたんだよね… どこにいても誰かの目が届いていて安心できる。今の時代、幼児連れ去りや携帯を使った犯罪、親父狩りなんて言葉もありました。裕福な時代になり

バカ貧しくなってしまうのは悲しいですね。

私達は親として子供達に伝えていかなければいけません。恵まれた今の時代に感謝し、忘れてはいけない人と人との繋がり、手を合わせるバカ…お互いを思いやる温かいバカを持つ子供達に育てていきたいと改めて思いました。



『

自然界のパワー』

先月5月21日の金環日食はみられましたか？

名古屋では932年ぶりだ、たそうですよ。

我が家も一番下の娘が、手伝りの遮光メガネを学校から頂き、通常の40分遅いでの学校スタートという事で、家族みんなで興奮しながら天体観測しました。

一番喜んでいたのはおじいちゃんて7時前から娘のメガネをのぞいては始ま、たぞ〜。と大はりきりでした。その姿がとっても素敵で、見ている私達の方が笑顔になり道行く近所の方も笑顔になりと自然界からパワーをもらいました。

一つのメガネをみんなで順番に回しながら、金環になるまでの太陽と月が重なりあう

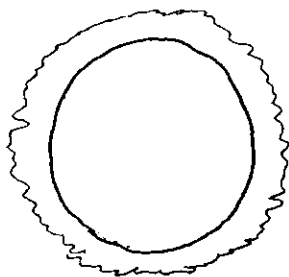
過程のすごさと7時30分になつた瞬間「見えた～
見えた～」ときれいにリングになつた時は神秘
の世界でした。

思ったより空も暗くならず不思議な感じで、普段の
生活では味わえない感動的な体験をさせてもら
いました。

テレビでも自分のメガネを人に貸して、みんなが空を見
上げて一緒に感動している姿はとても素敵でした。
喜びをみんなで感じられる事は人と人が触
れあうからこそ出来るのだと思います。

自然界のすごさと世界中が共有しあっている事
を感謝して日々過ごしていきたいですね。

次に見られるのは29年後だそうですね。。。。



小判

天判

辛抱するホに金がなる!?

小判

小判

天判

先月、主人の父の十三回忌の法要をしました。

父が他界し十三年!! あっという間の年月でした。

今秋には、主人の祖父の五十回忌法要をむかえます。

先祖代々という言葉に重圧を感じる事もありますか、多くの御先祖の身守りの中で生かされているのだなと思います。

その山は、まるで天地にしっかりと根っこが生えて

いる、そんな“安心”を強く感じます。

そのような思いの中で、ふとした会話を耳にしました。

「法事のお経は長〜いで、孫がかわいそうやで、お坊さんに頼んで短かめにしてもらったわ。じいさんも孫がかわいいで、来てくれただけで充分やわと思ってるわ。」という内容でした。

そうでしょうか。*

法事は誰の為にするのでしょうか？

とき方への供養ですよ！？ それを子孫の都合に合わせてもいいのでしょうか？

この頃、あまりにも自分達の都合に合わせてすきのように思えるのです。

私が子供の頃は“よく辛抱する木に金になる”なんて言われました。

ただ、我慢するだけでなく、何故それが必要なのか、そしてそれが、どのように人生にとって良い結果をもたらすかを、大人達が子供達へお教えていかねければならない時代なんですね。

生活の中で“我慢”、“辛抱”を学ぶ場所が少なくなりました。物事や食べ物にいたるまで全てが楽に入る時代です。

しかし、生活の中での“我慢”や“辛抱”が子供達の成長の中でとても必要な事だと思っています。

キレやすい子・飽きやすい子・などもどこかでこの我慢だったり辛抱だったりを学んでこなかっただけかも

知りませんね。

あるテレビ番組で、外国人の人達がビックリした事があると言っていました。それは、日本の電車内では、大人が立って子供が座っている。私達の国では、大人が座るのはあたり前、子供は立っているべき...とか。

いつの間にか日本人は、子供達への愛情のかけ方を間違っしてしま、たのかも知りませんね。

来月はもうお盆月になります。

子供達 イヤ私達も改めて、御先祖様に、心のこもった供養をしましょう。

御先祖様が、私達の根、こであるならば、私達は幹であり、葉であり、花そして実となるでしょう。良い花を咲かし、よい実をみおらせるには、根、こがしっかりとはいないと成長できません。心を込めて、お経を御題目を唱えませんか。

平成24年

子供祈禱会

開催報告



5分前太鼓をたたかせてもらいます
「少しはずかしかったけど」
最後までがんばるぞ



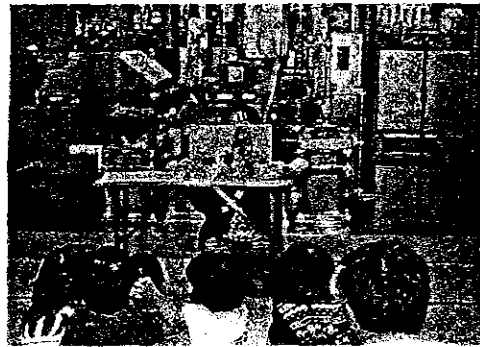
みんなの願いが
届きますように..



みんなゆっくりなお経に
がんばってついていってます



お守り・お菓子
いっぱいもらったヨ



紙芝居。み～んな真剣
題名「はしになっただいじゃどん」



「どうしてこいのぼりあげるの」
親子でふむふむ...。
そうなのか...



サイコロ転がし。
出た目の数でお菓子を
もらったよ。



皆でお茶の時間。
「今日の子供の日。
とっても楽しかったネ」



5月5日子供祈禱会が行われました。天候にも恵まれ子供達の元気な太鼓の音が本堂に響き渡りました。

太鼓の後にはお題目石祈願があります。子供達それぞれのの願いを込めてお題目石を書きました。

親の願いはただ一つ。今年も子供達が元気でありますように...

法要後の法話では私達は動物や植物達から命をプレゼントされているというお話をして頂きました。だからこそ「いただきます」という気持ちで手をあわせる心が大切ですね。

手のひらのしわとしわと合わせて幸せ...拳のふしとふしを合わせると不幸せ...この言葉がとても印象的でした。素直な気持ちで手と手を合わせ感謝の気持ちを忘れず毎日過ごしていきたいですね!

今年はサプライズとして紙芝居にエコバッグ作りサイコロ転がしを行いました。親子で一緒に楽しめる事が出来て皆素敵な笑顔でした。とても心が温まる法要となりました。

< 6月寺院行事内容 >

- 6月13日(水) 午前10時より 宗祖日蓮大聖人報恩会
6月18日(月) 午前10時より 鬼子母尊神
七面大明神) 祈禱会
6月24日(日) 午後2時より 役員会

< 住職行事内容 >

- 6月4日(月) 布教師会
6月6日(水) 宗務所
6月12日(火) 師恩会
6月18日(月) 伝道企画会議

< 6月の予定 >

- 6月6日(水) 各々の時間ご 清掃・準備活動
6月[?]12日(火) " (お供物準備)
6月13日(水) 法要終了後 片付け準備活動
6月14日(木) 各々の時間ご 清掃・準備活動
[?]17日(日) " (お供物準備)